



新しい奈良へ 「挑戦」を続けます

知事就任から1年が経ちました。

社会や経済の変化に対応して変えるべきところは変え、世界に誇る歴史文化遺産、豊かな自然や景観など奈良県の素晴らしい魅力は守り、大都市に近い利便性などの特徴を活かして奈良県をあらゆる面で発展させていく、その思いでこの一年邁進してきました。

就任後すぐに、前知事が手がけていた大規模プロジェクトの見直しに取り組み、将来分も含む総事業費で約4,730億円の税金の支出を節減しました。見直しによって生み出した財源を、私立高校の授業料実質無償化や子育て支援、物価高対策等に充て、就任からわずか1年で公約に掲げた項目の76%を達成することができました。

すべては奈良県の未来のために。

“新しい奈良”を共に作るという皆様との約束を必ず実行していきます。

引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。



知事就任からわずか1年で

公約の76%を達成!!

下記は実現できた公約の一部です。
詳しくは中面に記載しております。

合計約4,730億円の大規模プロジェクトを見直し

2,000mの滑走路を伴う大規模広域防災拠点(1,000億円以上)、近鉄奈良線の移設(800億円)など

私立高校授業料の実質無償化

年収910万円未満世帯に
年額63万円まで

令和6年度予算約13億円 ※国庫補助金等交付金

保育士給与の処遇改善・教員の負担軽減策

物価高対策

働く人応援クーポンの発行など

就労支援

有給インターン制度による女性の雇用促進など



ふれあい駅伝交流大会に
「チーム奈良県庁」の一員と
して出場

子どもを取り巻く課題に部局
横断で取り組む
「こども・子育て推進本部会議」
を設置、初会合

大規模広域防災拠点の整備など
15のプロジェクトを中止、または
一部中止を発表。将来分も含め
約4730億円を削減

就任式で「奈良県政を変えること
が私の責務」と奈良県の発展に
向けた決意を述べ、公約実現の
ため令和5年度予算の一部執行
停止を指示

9月

7月

6月

5月

2023年

山下まことの1年

2023.5-2024.3

10月

12月

2024年

2月

3月

令和6年度以降の
高校授業料



奈良マラソンに
出場、
4時間46分で

教員の負担軽減に向けた政策を
発表
全国に先駆け令和8年度に



知事就任後、初めての編成となる
令和6年度当初予算が成立
運営公約に掲げた子育て、

公約達成状況

76% 達成!

23項目のうち、
17.5項目を達成
(高校無償化と検討中は、0.5でカウント)

選挙時の公約

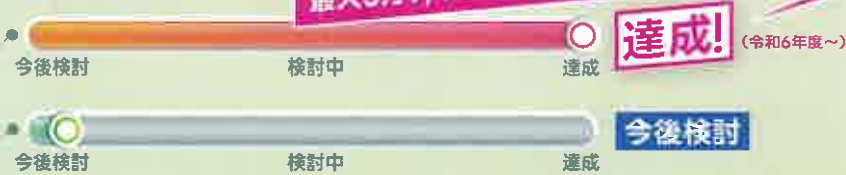


現在の状況(2024年4月時点)

令和6年度～私立高校でも年収910万円未満世帯に
年額63万円まで無償化を実現!(大阪府並み)
年収910万円以上の多子世帯は、国公私立問わず
最大5万9,400円助成(東京都並み)

教育無償化

- ▶ 経済的な理由で学びを諦めることがないよう、公立・私立問わず、高校授業料を無償化。
- ▶ 所得制限なし。県外の私立高校に通う生徒も対象。



子育て支援

- ▶ 0～2歳児の保育料無償化。
- ▶ 18歳までの医療費助成(全市町村)の実現に向け、県と市町村の協議の場を設ける。
- ▶ 市町村と協力し、就労の有無にかかわらず利用できるベビーシッター等の子育てクーポンの配布を検討。
- ▶ 不妊治療の県独自の支援制度を創設。保険適用外の「混合診療」や「先進医療」の治療費を助成。
- ▶ 発達障がいなど支援を必要とする子どもが適切なサポートを受けられるよう、相談機能を強化。
- ▶ 不登校の子どもへの支援。
- ▶ ヤングケアラーの早期発見に向けた体制を構築。



教員や保育士への支援

- ▶ 子どもと向き合う時間を拡充するため、教員の事務仕事の軽減を図る。
- ▶ 県独自の手当制度の創設により残業代の適切な支給につながるよう検討。
- ▶ 保育士の研修を強化し保育の質の向上を図る。
- ▶ 保育士の再就労支援や、保育士の待遇を改善。過疎地域の保育士確保対策。



物価高対策

- ▶ 国の地方交付金を財源として、県民や事業者を支援。学校給食費や省エネ家電への買い換えの支援、プレミアム商品券や地域で活用できるマイナポイントの発行等を検討。



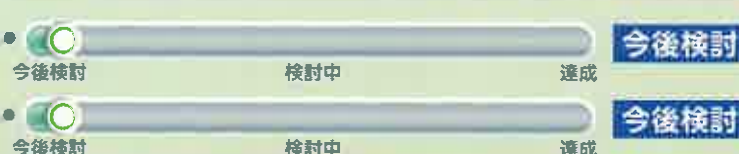
経済・観光振興

- ▶ 関西広域連合に全面加入。
- ▶ 県内中小・零細企業を支援(企業の県外流出を食い止めるため土地利用の規制緩和など)。
- ▶ 知事のトップセールスにより企業版ふるさと納税の活用推進。
- ▶ 2025年の大阪・関西万博を絶好の好機と捉え、体験型観光の強化や県南部・東部の観光プロモーションを促進、インバウンド誘致につなげる。
- ▶ 民間のアイデアで観光にイノベーションを起こすための戦略本部(仮)の設置。



高齢者

- ▶ 特別養護老人ホーム待機者への有料老人ホームの入居費補助。
- ▶ 運転免許自主返納者への支援の拡充。



就労支援

- ▶ 企業誘致を進め、若者や女性の新たな雇用を生み出す。
- ▶ 短時間勤務など柔軟な働き方を推進する地元企業を支援。



去年4月の奈良県知事選挙で、26万6404票の信託を受けて、奈良県知事に就任した山下真知事。
初めての民間出身で*、これまでとは大きく異なるタイプの知事として、奈良県政の改革に奔走したこの1年の率直な感想を聞きました。

*選挙で知事を選ぶようになった戦後、奈良県知事を務めた5人は、すべて中央省庁の官僚や県職員出身者

知事が変わって、
奈良県も変わったなど
実感していただきたい

interview

奈良県知事 山下 真 Yamashita Makoto

この1年を振り返ってどのように感じていますか？

県政が担う分野は多岐にわたり、ありとあらゆることの判断を日々求められます。時には当然限りがあるので、短い時間でポイントを職員から聞き取り判断を下すことは、本当に緊張の連続です。
選挙で県民の皆さんにお約束した公約については、1年目からスピード感を持って取り組みました。「知事が変わって、奈良県も変わったな」と実感していただきたい、そんな思いでやってきて、割と良いスタートがきれたかなと思っています。

公約の柱の一つ、私立高校授業料実質無償化も今年度から始まりましたね。

子どもの教育に関する制度は、早く始めればその分、恩恵を受ける県民の皆さんが多くなりますので、すぐにやりたいと思っていました。予算を何に使うかは、最終的には知事が決めるので、前知事の時代のように大型公共事業に巨額の予算を使うのをやめて、教育や子育て支援に使おうと決めて、財源が確保できれば、すぐに実現できることなんです。

「県外の私立高校も対象」「所得制限なし」については、どう考えていますか？

県外の私立高校に通う生徒への助成については、今の2倍、約26億円の財源が必要です。また、大阪や京都と不均衡にならないようにする必要があるので、状況を見ながら検討していきます。「所得制限なし」にするためには、行財政改革をさらに進め、財源を確保する必要があるので、段階的に実施していきたいと考えています。

仕事を進める上で心がけていることはありますか？

県庁の仕事は、全てチームプレーなんです。一人ですべての仕事っていうのはあまりない。職場はもちろん、いろんな形でコミュニケーションを深める機会を持つとうことで、去年9月と今年2月には職員と一緒に駅伝に出ました。若手の職員とも話ができて、非常に良かったですね。

インタビューの全編動画は、こちらからご覧いただけます



ホームページ YouTube

趣味のマラソンを続けておられるのですね。

今も週に2、3回は早朝に5kmぐらい、週末は10kmぐらい走っています。去年秋からのシーズンは、月に2回ぐらいのペースで大会に出て、フルマラソン4回、ハーフマラソンに5回出場しました。仕事も体力が基本ですから、気力と体力と免疫力が上がっていると思います。無心で走っているんですけど、「こういう政策をしよう！」と仕事のアイデアがパッと浮かぶこともあります。

土日にも公務があり、多忙な毎日だと思います。ストレスは溜まりませんか？

私は、一晩寝れば体力も回復するし、ストレスもリセットされる方なので、その辺はうまくやっています。とはいえ、ストレスが溜まった時は、ランニングの他にも、カラオケで気分転換しています。カラオケが大好きで、休みの時に家族や友人と行きます。秦基博とか、スピッツ、YOASOBIとかを歌いますね。

県議会は与党の議員が過半数に達していない状況ですが、どのように対応していますか？

私が提案した予算案、条例案が否決される可能性が常にあります。見る角度がちょっと違ったり、意見がかみ合わなかったりすることもあります。奈良県を良くしていきたいという思いは議員の皆さんも私も同じだと思います。私の進めようとしている政策を理解していただくために、わかりやすく、丁寧に、何度も誠意を持って説明することを心がけています。

2年目以降、どのように取り組んでいきますか？

「知事が変わって住みやすくなった」と実感していただけるよう、引き続き公約の実現や県政の改革に邁進します。また、奈良県の素晴らしさを全国に、そして世界に積極的にPRをして、多くの人が奈良県を訪れる、住んでもらえる、注目されるようにしていきたいですね。
知事である私が直接発信することも大切だと思っています。SNS等での発信もしていきますので、通勤途中とか、スキマ時間にぜひご覧いただきたいです。

奈良が変わる!



新しい事業が動き出しています

選挙で掲げた公約の他にも、県民の皆様の生活に密着した施策に予算を配分し、充実させていきます!

県立高校トイレピッカピカ計画

和式で老朽化していた県立高校のトイレを29校計353か所について、令和6年度から5年間で、洋式化、乾式化。

総事業費 約 55億円

ならの道 リフレッシュプロジェクト

県が管理する道路の計画的な維持管理を行い、快適な道路空間を提供(舗装、区画線の修繕、計画的な防草対策)

令和6年度から5年間、総事業費 約 80億円

ぬくもりあふれる公園プロジェクト

5つの県立公園(馬見丘陵公園、奈良公園、大淵池公園、竜田公園、大和民俗公園)を対象。主要園路のバリアフリー化、全ての世代にやさしいトイレ、授乳施設の整備等。

令和6年度から5年間、総事業費 約 22億円

産学官とスタートアップ(革新的起業家)の連携を促進する

「奈良スタートアップ・プログラム」



五條市の 大規模広域防災拠点計画の見直しについて

Q. なぜ前の計画を見直したの??

- 2,000m級の滑走路は災害時に亀裂が入り役に立たない(能登半島地震で表面化)
- 滑走路の整備に約90年かかる可能性があり、南海トラフに備えられない非現実的な計画
- 総事業費が約1,000億円以上とあまりに巨額



Q. メガソーラーは安全なの??

- 太陽光発電施設で事故が起きた割合は0.08%*
- 事故の大半は急傾斜地で起きている
- 今回設置を考えているのは、ゴルフ場跡地の平らな場所で安全性は高い
- 使用済みパネルは99%リサイクルできる技術の開発も進んでいる



※出典「電気保安の現状について(令和3年度電気保安統計の概要)」(独立行政法人製品評価技術基盤機構)「なっとく!再生可能エネルギー」公開データ(資源エネルギー庁)

Q. なぜメガソーラーなの?? 反対の声もある中、時間をかけて進めるべきでは??

- 前知事時代に県が約36億円で用地を購入済み
- 防災目的なら約7割(約25億円)を国が実質負担してくれる国の「緊急防災・減災事業債」を活用
- 令和7年度中には「防災目的」で土地の利用を実現しないと約25億円を国に返還しなければならない

急ぎ防災拠点計画を立てる必要性

能登半島地震では

- 道路が寸断される中、支援に役立ったのはヘリコプター
- 送電網が寸断され、電力の確保が重要な課題の一つ
- 滑走路ではなく、大型ヘリポートと備蓄倉庫の整備が有効
- 太陽光発電施設なら、災害時は電気を蓄電池に備え、ヘリを使用して物資だけでなく電気も運べる
- 平常時は売電できるほか、地元の五條市に年間5,000万円(推計)の固定資産税が入る



Q. メガソーラーと合わせて水素も作れるの??

- 昼間の余剰電力を使い水素をつくる計画
- 水素は二酸化炭素を排出しないクリーンな再生可能エネルギーとして世界中が注目
- 日本も15兆円規模の水素戦略を打ち出している
- 脱炭素社会に向けた産業振興にもつながる未来型のプロジェクト



県民の命と財産を守るため、奈良県の防災力を強化することは、最大の責務だと考えています。計画を進める上で最も大切なことは、地元の方々をはじめ県民の皆様にご理解をいただくことです。疑問や不安の解消のため、これからも丁寧な説明を続けていきます。



防災計画のインタビュー動画はこちらでご覧いただけます



ホームページ



YouTube

計画に関する詳しい資料はこちら



日本維新の会 山下まこと 県政報告会 6.22(土)

大盛況で終了いたしました。

入場無料
予約不要

知事就任から約1年。奈良県の「今、そしてこれから」をお話します。

時間 午後 3:00~(受付 2:30~)

場所 奈良県コンベンションセンター
天平ホール

〒630-8013 奈良県奈良市三条大路1丁目1-691-1

※入場者が定員数を超える場合は、入場規制をさせていただきます。予めご了承ください。

日本維新の会 一般党員募集!

日本維新の会では、党員として支えてくださる方を募集しております。

山下まこと 後援会事務所